

東京都立芝商業高等学校 令和4年度 教科(家庭) 科目(家庭基礎) 年間授業計画

教科: 家庭科 科目: 家庭基礎 単位数: 2単位

対象学年組: 第2学年(A組~E組)

使用教科書: (新図説家庭基礎(実教出版))

使用教材: (生活ハンドブック(第一学習社))

	指導内容	家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	家庭基礎の学習について	①家庭基礎を学習するにあたって、学習の意義や・内容・方法・評価について理解する。 ②生活事象や総合的・多面的にとらえ、自分の家庭環境と他者のを交流しながら学び、比較し、自分の意見や将来の家庭像を築く力を養う。		1
	青年期の自立と家族 ①人の一生とライフステージ ②現代の家族 ③家庭生活の成り立ち ④家族と社会	①生涯発達の見点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。 ②長い人生の中、青年期にある自分を見つめなおすことを通じて、これからの人生をどう生きていくかを考える ③青年期の具体的な生き方や自分自身を見つめ直すことを通じ、これからの人生設計や家族について考える。 ④家族の機能は時代とともに変化したか、現代の家族の現状を理解し、これから求められる家族の機能について考える。家族に関する法律を理解する。 ⑤生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解する。	①プリント課題②観察(発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢	7
5月	子どもの発達と保育 ①子どもの発達を学ぶ ②子どもの生活を知る ③子どもと育ち合う ④社会が子どもを育てる	①子どもの健全な発達を支える親や周りの大人の役割について考える。 ②家庭生活が果たす重要性について理解する。 ③子育てに関する社会的支援や社会の一員として身近な子供の関わりについて考える。	①プリント課題②観察(発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢	8
6月	衣生活と自立 ①衣服を管理する ②衣服を着る ③衣服の成り立ち ④衣服と消費者 ⑤衣服の手入れ	①被服の起源をひもとき、被服の社会的習慣への適応などの社会的機能を理解する。 ②被服の材料の性能や構成などを理解し、被服の手入れ、洗濯、保管の技術を習得する。 ③被服実習を通して、高校生の着装に興味を持ち自分らしい着装について考える。 ④組成表示や取り扱い絵表示を理解し、快適な衣生活を送る態度を育てる。	①プリント課題②観察(発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢④期末考査	10
7月				

	指導内容	家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月	ホームプロジェクト			

	指導内容	家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	食生活と自立 ①人が食べるということ ②食品の選択と取り扱い ③栄養と食品 ④献立作成 ⑤調理の基礎 ⑥これからの食生活	①青年期と各ライフステージの栄養的特徴について理解する。 ②食生活に関心を持ち、食事の重要性について考える。 ③食品の栄養的特徴と調理上の性質を理解する。 ④食品の衛生と安全性について関心を持ち必要な知識を身に付ける。 ⑤目的を明確にした調理実習を通して、調理技術を習得する。	①プリント課題②観察 (発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢	16
10月				
11月	高齢期の生活 ①超高齢社会を生きる ②高齢期の心身の特徴と暮らし ③高齢期の暮らしを支える仕組み	①身のまわりの人びとに視野を広げ、高齢期の身体的および心理的特徴について理解し、現状の課題について考えさせる。 ② 超高齢社会を迎えている現状と課題について理解し、対策を考える力を養う。	①プリント課題②観察 (発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢	4
12月	共生社会と福祉 ①家族・家庭と社会的支援 ②共生とコミュニティ ライフスタイルと環境	①生涯を通して家族・家庭の生活を支える仕組みについて特に福祉や社会的支援について理解する。 ②ノーマライゼーションの理念を土台とした社会を作ることが重要であると理解する。	①プリント課題②観察 (発言、授業に取り組む態度)③実習に取り組む姿勢④期末考査	4

	指導内容	家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	住居生活と自立 ①住まいを見つめる ②安全で健康な住まい ③これからの住生活と住環境	①住まいや家族の生活を各ライフステージに応じて考える。特に高校生が直面する住生活に関する問題を理解し、対応する力を養う。 ②地域コミュニティと共生できる住生活を考える。 ③安全で快適な住生活を送るための知識を習得する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢	8
2 月	消費生活と経済	①消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する知識を身に付ける。 ②適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることを理解する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢	10
3 月	ライフスタイルと環境	環境問題や資源エネルギー問題が生じていることを理解し、生徒自らの行動によって環境負荷の少ない生活を送ることができ、地球規模の環境問題に主体的に取り組む姿勢を養う。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	2